

編集 後記

経済不安と格差社会への危機という問題で新しい年を迎えた2009年である。2009年の第1号であるが、巻頭の特田羅先生の「現代公衆生成の思想的基盤」という記事はぜひ、読んでいただきたい。私は大学で地域看護学の教育に当たっているが、「公衆衛生」「疫学」「地域保健」そして「地域看護」という用語の中でそれをどう解釈し定義していくか、互いの相違はといったところで悩み、しばしば右により左によりと軸がずれてしまうことに不安がある。しかし、この論文を読み、地道に歴史的な流れを辿って整理していくことの重要性が実感できた。また、100年に1回と言う経済不安がもたらす健康への影響とその対策を考える際のヒントも歴史の中にあるように思う。

論壇ではインフルエンザ予防接種の有効性評価について、私たちが大切にするエビデンスの見方について視点が提示されており、興味深い。また、資料も現代の大きな課題であるアレルギー、在日外国人の問題に焦点を当てており、日本公衆衛生学会会員の皆様の業務や研究に役に立っていただけそうな内容となっている。

しかし、残念ながら原著がない。近年多くの近接領域の学会が立ち上がり、投稿先が増えたことや英語論文への価値が上がり、英文誌に投稿が流れていることなどがその理由として考えられよう。日本公衆衛生雑誌は和文誌でありながらPubMedにも登録されている学会誌という意味でも価値ある論文である。ぜひ、優秀な研究や実践での調査や活動の評価を投稿し、貴重な情報を内外に発信していただきたい。(荒木田美香子)

次号予告 (第56巻・第2号)

原著

女性介護者における心身の健康的特性
.....星野純子, 他
ホームヘルパーの仕事意欲測定尺度開発およびその関連要因.....中谷安寿, 他
標準化死亡比の経験的ペイズ推定量に基づく医療資源と死亡との関連
.....大坪浩一, 他

資料

1歳6か月児健康診査の実施内容と保健師の関わり.....都筑千景, 他

連載

運動・身体活動と公衆衛生(12).....岡田邦夫
わが国の結核対策の現状と課題(6).....鈴木公典
21世紀の地域保健(6).....千葉光行

第12回日本地域看護学会学術集会

日時：2009年8月8日(土)、9日(日)

会場：OVTA；オプタ助海外職業訓練協会国際能力開発支援センター
(JR京葉線 海浜幕張駅北口から徒歩8分)

会長：宮崎美砂子(千葉大学看護学部教授)

テーマ：予防活動の本質をつかむ！—活動の連鎖・持続・発展から—

内容：会長講演「予防活動としての保健指導の技術」、シンポジウム「活動の連鎖・持続・発展から見える地域看護実践の技術」、特別講演「心豊かな暮らしとまちのデザイン」(中村攻/千葉大学名誉教授)、理事会セミナー、一般演題、ワークショップ

参加費(講演集代含む)：学生(大学院生を除く)4,000円、非学会員9,000円、
学会員(6月1日以前申込)7,000円・(6月2日以降申込)8,000円

参加申込方法：事前申し込みは郵便振替用紙に氏名・所属・住所・電話番号・参加費の内訳を明記し「第12回日本地域看護学会 口座番号00150-8-503128」へ参加費を振り込む。詳細はホームページ参照

問い合わせ先：第12回日本地域看護学会学術集会事務局(千葉大学看護学部地域看護学教育研究分野内)、FAX; 043-226-2438, E-mail; jachn12-gakkai@umin.ac.jp

ホームページ：http://jachn.umin.jp/meeting/m12.html